

呼吸器内科

呼気NO検査 (FeNO) を 導入しています



“呼気NO検査 (FeNO)” について

呼気中のNO濃度は末梢気道の好酸球性炎症を反映すると言われ、主に気道支喘息や重度のアレルギー性鼻炎患者で上昇するとされています。

呼吸器内科領域では、慢性咳嗽の鑑別や、気管支喘息診断の参考および治療の有効性を判断するために用いられています。

